

LD_IFCC		353000		
LD		担当部署		
		生化		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		緊急対応(24 時間)		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		溶血による影響を受ける為、採血時に注意が必要。		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 他材料	10 青	分離剤	8	mL
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
<b>検査結果・報告</b>				

検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間	当日中～翌日				
生物学的基準範囲	124 - 222U/L 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲				
臨床判断値	設定なし				
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
124	222	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	1000U/L (新規の外来患者)			
	低値	設定なし			
生理的変動要因	特記事項なし				
臨床的意義	<p>乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)は 2 種のサブユニットからなる 4 量体であり、5 種のアイソザイムを形成する。ほとんど全ての細胞に存在する逸脱酵素であるため初診時のスクリーニング検査として重要な役割を示す。すなわち何か異常生じていないかどうかを判断するのに有用である。</p> <p>日本臨床第 7 版 13,2009</p>				